

Open: 月-金曜日 10:00-17:00 *土日祝日、年末年始、夏期休暇期間は閉館
 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 立命館大学衣笠キャンパス明学館1階
 TEL: 075(465)8107 FAX: 075(465)8334

薬物問題のこと知っていますか？

麻薬等の薬物問題は今や地球規模の深刻な問題であり、国際社会が一丸となって取り組むべき重要な課題となっています。

人間の生命はもとより、社会や国の安全を脅かすなど、人類が抱える最も深刻な社会問題の一つとなっています。

近年では新型の薬物である新精神作用物質—NPS(New Psychoactive Substances)が急速かつ大量に出回るようになり、実態の把握が困難な状況になっています。



©2013 UNODC

国連のもとに採択された薬物に関する条約

● 麻薬に関する単一条約(1961) Single Convention on Narcotic Drugs	麻薬に関する国際規範 麻薬を医療、学術目的に限定するために生産、所持、使用を制限
● 向精神薬に関する条約(1971) Convention on Psychotropic Substances	麻薬、アヘン、大麻以外の幻覚剤、鎮痛剤、覚せい剤、睡眠薬、精神安定剤等の乱用を防止
● 麻薬及び向精神薬の不正取引の防止に関する国際連合条約(1988) United Nations Convention against Illicit Traffic in Narcotic Drugs and Psychotropic Substances	麻薬等の不正取引の増加により規制を強化 薬物の取引に対する包括的な対策を規定

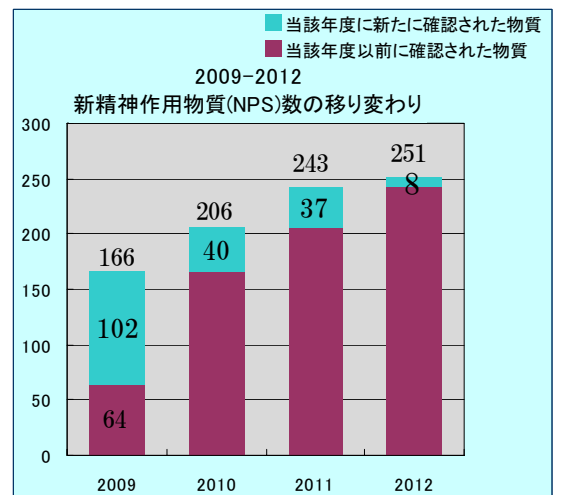
参考資料：国際連合の基礎知識

新精神作用物質 NPS(New Psychoactive Substances)とは？

NPS は国連条約で規制対象に定められていない新規薬物です。そのため現在の麻薬法や薬事法では取り締まりができず、世界的に急速に拡大し続けているのです。「World Drug Report 2013」(国連薬物犯罪事務所)によると 2008 年までに確認された NPS は 64 種でしたが、2012 年半ばには 251 種と 3 年間で大幅に増加していることが分かります。(右図参照)

国連は更なる被害を防止するために薬物を統制する対策を見出し、新しい薬物への対処を施すことに努めています。そして、そこには多岐にわたる [※]国際機関がそれぞれの役目を持ち、あらゆる方面から薬物の統制に取り組んでいます。

※ 裏面参照



参考資料：World Drug Report 2013

World Drug Report 2013 はインターネットにて閲覧することができます。

http://www.unodc.org/unodc/secured/wdr/wdr2013/World_Drug_Report_2013.pdf

国連薬物犯罪事務所（旧称「薬物統制犯罪防止事務所（ODCCP : Office for Drug Control and Crime Prevention）」（1997年設立）はウィーンに本部を置き、薬物の統制、犯罪防止、テロリズムの相互に関連する問題に国連がよりよく対処できるようにする目的で設置されました。国連によるすべての薬物統制活動の先導を務め薬物の生産、取引、乱用を悪化させるような発展を防止し、薬物統制に関する技術援助を行うとともに、薬物統制条約の実施を促進しています。

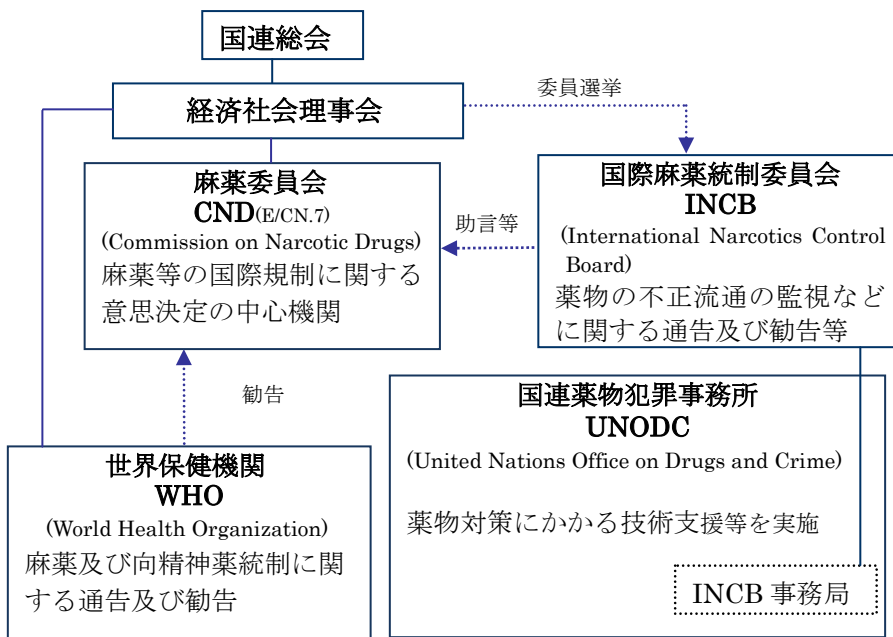
参考資料：国際連合の基礎知識

主な業務

- 不正薬物及び犯罪に関する調査・分析を行うこと
- 国連加盟国の不正薬物、犯罪、テロリズムに関する各条約の締結・実施及び国内法整備を支援すること
- 国連加盟国に対し不正薬物、犯罪、テロ対策における能力向上のための技術協力を提供すること

参考資料：国際連合の基礎知識

UNODC と国際機関(麻薬関係)の機構図



参考資料：厚生労働省 HP

国際薬物乱用・不正取引防止デー

(International Day Against Drug Abuse and Illicit Trafficking)

毎年6月26日は国際薬物乱用・不正取引防止デーとして定められています。

UNODC（国連薬物犯罪事務所）の取り組みとして、毎回テーマを選び注意を喚起するキャンペーン“World Drug Campaign”を行います。2013年は「Make health your “new high” in life, not drugs」がテーマとなりました。

薬物に依存しないよう呼びかけるとともに、ターゲットとなりやすい若者に対して薬物の危険性を認識してもらうよう努めています。

参考資料：外務省 HP World Drug Report 2013

秋のイベントのお知らせ

「みんなで食べる幸せを」

期間：10月21日(月)～

11月7日(木)

場所：京都国連寄託図書館

10月は世界食料デー月間です。

「世界の食料ロス問題」や「世界の飢餓と私たちの食とのつながり」についての写真パネルを展示します。

この機会に世界の食料・飢餓問題について考えてみませんか。

※館内には食料問題についての資料が多数ありますのでご利用ください。

共催：京都国連寄託図書館

立命館大学国際協力資料センター

国連寄託図書館とは・・・

“国連”のことを広くみなさんに知っていただくために、国連が世界に設置している図書館です。また、どなたでもご利用いただけます。

京都国連寄託図書館では、年四回ニュースレターを発行しています。送付をご希望の学校関係者の方は、下記までご連絡ください。なお、個人への直接送付は行っておりませんのでご了承ください。

発行：京都国連寄託図書館

〒603-8577

京都市北区等持院北町 56-1

立命館大学衣笠キャンパス明学館 1 階

TEL : 075(465)8107

FAX : 075(465)8334

URL :

<http://www.ritsumeiji.ac.jp/acd/in/cger/kunl/index.html>

Kyoto United Nations Depository Library

News Letter No. 15